

安達太良山

概況

火山活動は穏やかに経過しました。

沼ノ平火口付近の噴気活動は低調な状態が続いています。

地震活動の状況

火山性地震は7回観測されましたが、地震活動は引き続き低調な状態が続いています。(先月3回)

火山性微動は観測されませんでした。

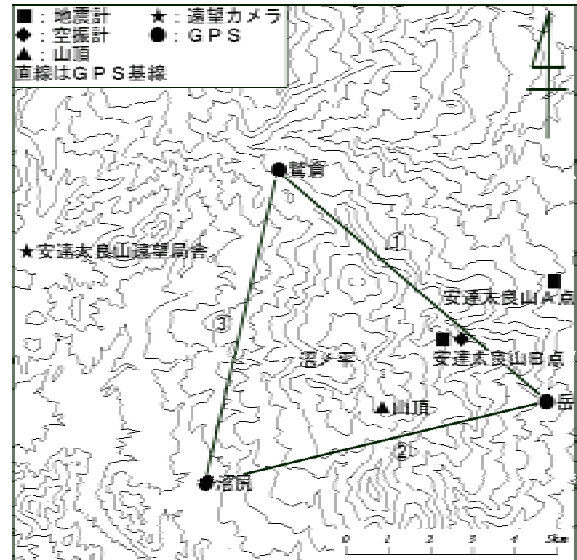
噴気活動の状況

遠望観測(監視カメラ)による沼ノ平火口付近の噴気は観測されず、噴気活動は低調な状態が続いています。

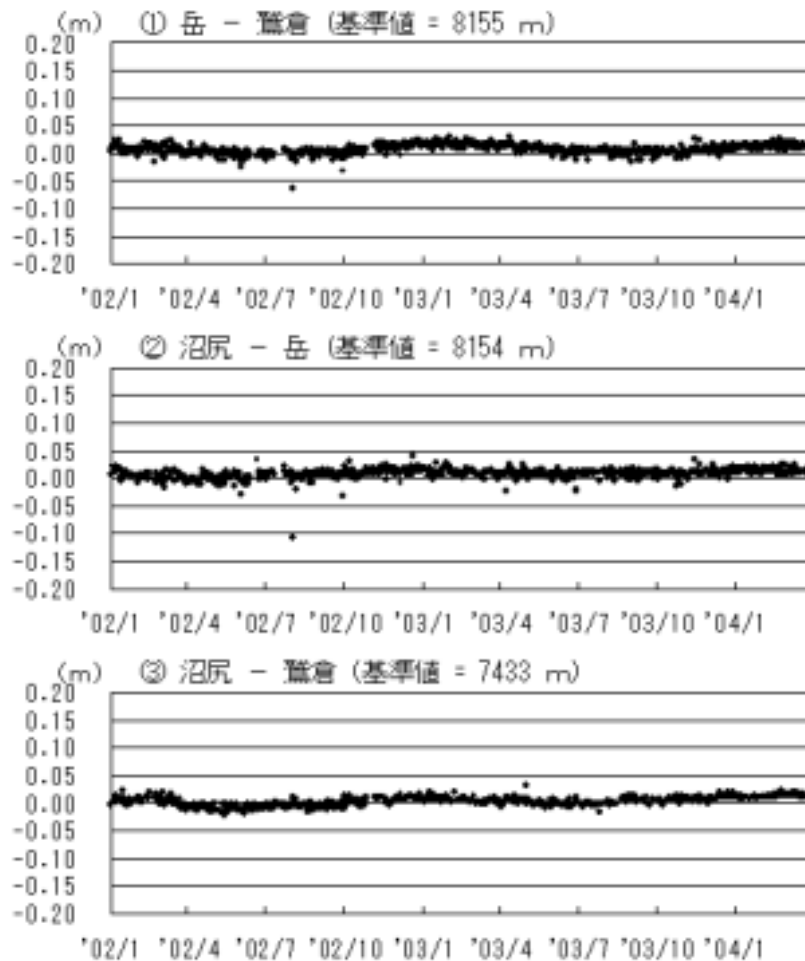
10日に東北地方整備局の協力により行った上空からの観測でも噴気は観測されませんでした。

地殻変動活動の状況

GPSによる観測では、火山活動によると考えられる変化はみられませんでした。



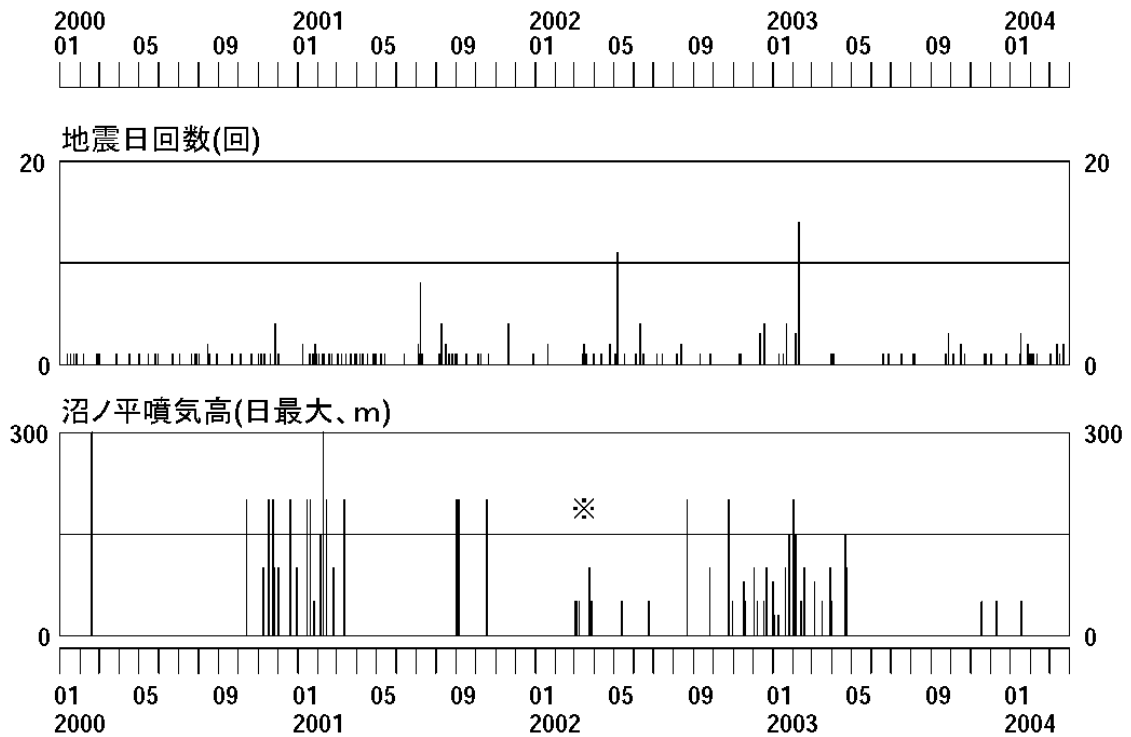
安達太良山火山観測点配置図



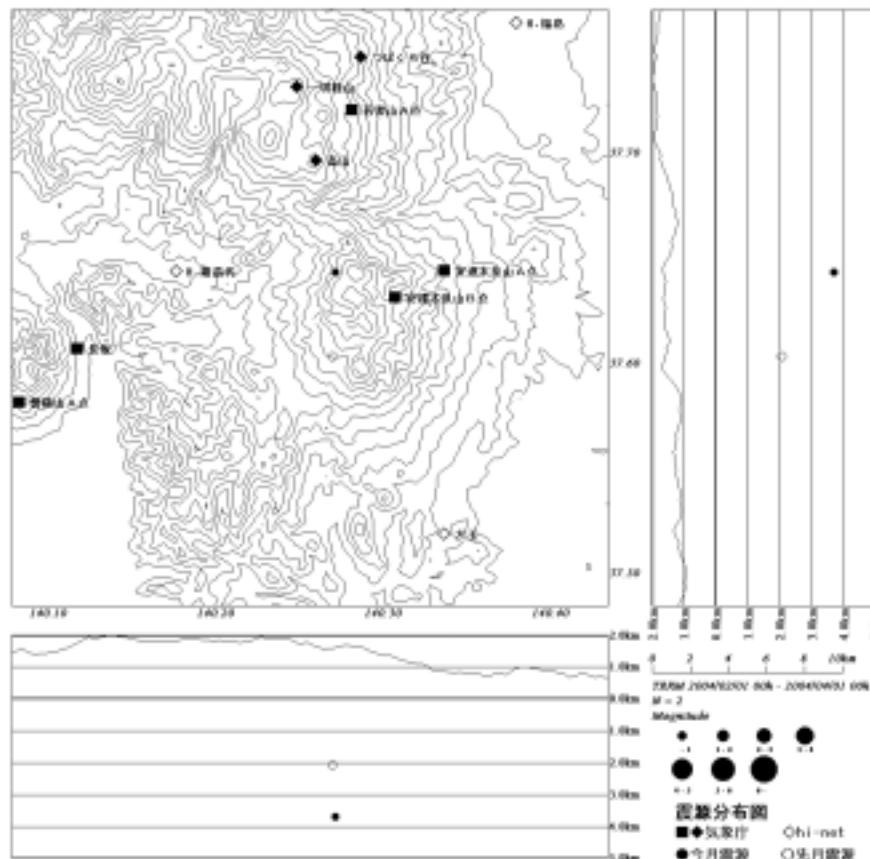
GPS 基線長変化図 (2002.1 ~ 2004.3)

安達太良山 活動一覽

2000/01/01~2004/03/31



※2002年2月以前は定時及び随時観測データ。2002年3月以後は収録データにより全時間を精査。



安達太良山震源分布図(2004.2.1~2004.3.31)

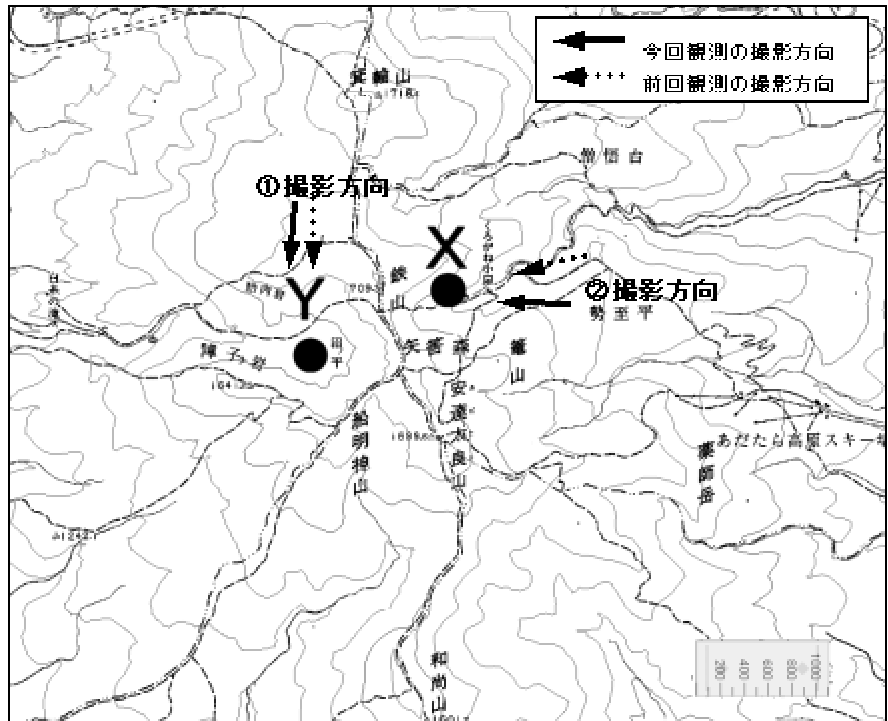
2004年3月10日東北地方整備局ヘリによる機上観測結果(安達太良山)

沼ノ平(Y-1、Y-3、Y-4)

沼ノ平中央火口噴気(Y-1)では、2003年3月の観測で高さ約10mの噴気を確認しましたが、今回の観測では噴気孔自体が消滅しており、前回の観測で噴気孔の周辺に飛散していた黄色昇華物の痕跡も見えませんでした。

沼ノ平南西変質地(Y-3)と沼ノ平西方噴気(Y-4)では前回の観測では共に高さ約3mの噴気を確認しましたが、今回の観測では噴気は見られませんでした。

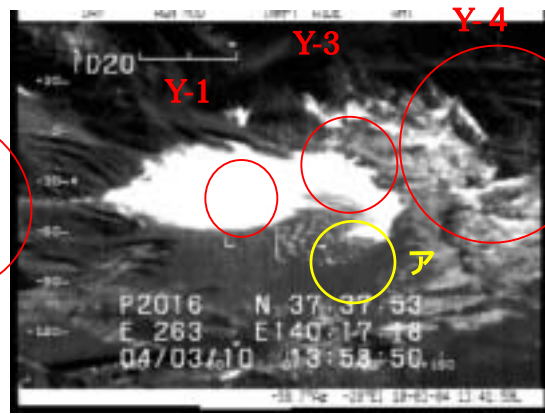
地熱による雪解けで地肌が露出した領域の面積は、前回と比較して大きな変化はみられません。また赤外線カメラによる観測では、前回の観測時に見えた泥噴出孔跡の温度の高い部分(赤外画像右下の領域ア)は、今回確認できませんでした。それ以外では地表面温度が高い領域の分布に変化は見られません。



可視画像

赤外画像

(2004年3月)
今回の観測



(2003年3月)
前回の観測

